

安曇野市 穂高会館



所在地：長野県安曇野市穂高 5047 番地
 建築面積：8,318㎡
 延床面積：6,319㎡
 構造・規模：RC造、地上2階建
 施主：安曇野市
 リニューアル設計：(株)エーアンドエー構造研究所
 施工：建築／吉川・武井 特定建設工事共同企業体
 電気／三協電気・協信電気 特定建設工事共同企業体
 リニューアル完成：2015年3月

S350

長野県安曇野市。1980年の開館以来、市民に親しまれている穂高会館が、耐震補強工事とともに照明をリニューアル。LEDによるメンテナンスコストの削減と省エネ、さらにはステージ照明のアップグレードも実現しました。

スポーツ大会、芸術・文化行事の拠点として35年の歴史をもつ複合施設

雄大な北アルプスの麓に広がる人口約10万人の安曇野市。大きな三角形の屋根形状が山の稜線をイメージさせる、特徴的な外観をもつ穂高会館は、総合体育館と中央公民館、屋外のテニスコートなどで構成される複合施設です。開館は1980年。35年を経た今回の改修では、耐震性向上のための補強工事と機能性向上のための改修工事を実施し、使用電力削減に向けた照明器具のLED化や、バリアフリー化、屋外駐車場の拡充などが行われました。

大空間の勾配天井にLEDを採用しメンテナンスコスト削減と省エネを実現

総合体育館は、バスケットボールのコート2面を確保できる33.0m×38.8mのアリーナと、ギャラリース席956席、学校行事や演劇・音楽などに活用可能なステージを備え、さらに建物奥には、柔剣道場、卓球室、トレーニングルームなども完備しています。

メインスペースとなるアリーナは、天井高14m～24mの勾配天井のため、メンテナンスコストを削減する長寿命のLED高天井用ダウンライト（消費電力225W）を採用し、さらに足場を設置することなく屋根裏側からのメンテナンスが可能な特注仕様としています。屋根の傾斜に合わせ、左右対称に168台を配置し、明るさは最大1752ルクスに設計。さまざまなスポーツの公式大会における照度基準を満たすと同時に、テレビカメラでの撮影を考慮した高演色Ra95としています。アリーナに併設されたステージでも、省エネと省メンテナンスを考慮し演出照明をLED器具に一新。赤、緑、青、白の4色の組み合わせにより自在なフルカラー調色が可能なLEDアッパー・ホリゾンライト（消費電力140W）と、高演色Ra95のLEDボーダーライト（消費電力159W）により、多種多様なイベントに対応する演出を可能にしています。また、エントランスホール、卓球室、柔剣道場などには、LEDベースライトAQシリーズ（消費電力77.8W）を採用。勾配天井に直付けしライン配置とすることで、空間全体の明るさ感を向上させています。



LED高天井用ダウンライトを採用した総合体育館アリーナ。入口側からステージ側を望む



アリーナ側面側から対向面を望む



ステージ側からエントランスホール側を望む



傾斜枠付LED高天井用ダウンライト



一体形LEDダウンライトを設置した2階観客席



エントランスホールのLEDベースライトAQシリーズ



ステージのLEDアッパーホリゾンライトによりフルカラー調色が可能(緑色調色時)



青色調色時



橙色調色時



LEDアッパーホリゾンライト



調光操作卓 TOLSTARⅢ



LEDベースライトAQシリーズをライン配置した卓球室



LEDベースライトAQシリーズをライン配置した柔剣道場



ベース照明にHf蛍光灯器具を採用し、窓際にLEDダウンライトを配置した公民館

主な納入機器一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
総合 体育館	アリーナ	LED高天井用ダウンライト	LEDD-20023W-DJ2K(特注)	168 LED 消費電力: 225W
	エントランスホール、卓球室、柔剣道場、他	LEDベースライトAQシリーズ	LEDT-83101NK-LS9	108 LED 消費電力: 77.8W
		LEDベースライトAQシリーズ	LEDT-81701NK-LS9	66 LED 消費電力: 49.6W
	調光室	インテリジェント型調光操作卓	TOLSTARⅢ	1 制御回路数: 512 回路、記憶シーン数: 20シーン×10ページ、他
ステージ		LEDポーターライト(ジョイントボックス付4含ま)	AL-LED-BL-12-3	20 LED 消費電力: 159W 平均演色評価数 Ra95
		LEDアッパーホリゾンライト	AL-LED-UH-C	30 LED 消費電力: 140W
公民館	講堂	LEDダウンライト1500シリーズ	LEDD-15021MN-LS9	39 LED 消費電力: 14.6W